

「つくばコミュニケ」がもたらすもの



8/7 [日]

無料

「つくばコミュニケ」とは?

G7茨城・つくば科学技術大臣会合における6つの議題（アジェンダ）の議論から発出された共同声明。科学技術イノベーション分野における女性の活躍やオープンサイエンスの推進などが盛り込まれている。

14:00～16:00（開場13:30）

● 講師

内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付
参事官補佐（国際総括）
まなご ひろし

真子 博氏



【場 所】 つくば市役所201会議室
（つくば市研究学園1-1-1）

【定 員】 先着100名

【申込方法】 氏名、住所、電話番号を記入し、FAX、はがき、市ホームページからEメール、または電話で

【駐車場】 つくば市役所 来客用駐車場をご利用ください

【主 催】 つくば市 【後 援】 G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会

問合せ
・
申込先

つくば市企画・国際課国際室
電話 029-883-1111 内線5232、5233 FAX 029-868-7625
E-mail ctz031@info.tsukuba.ibaraki.jp
〒305-8555 つくば市研究学園1-1-1（つくば市企画部企画・国際課国際室）



今年5月15日～17日に開催されたG7茨城・つくば科学技術大臣会合では、主要7か国及びEUからの大臣等8名が参加されました。会合では、国際社会が直面する様々な科学技術関連の6つの議題（アジェンダ）について率直な意見交換を行い、協調して対応することを確認し、「つくばコミュニケ」（共同声明）を発表しました。今回、この「つくばコミュニケ」の概要、伊勢志摩サミットにおける位置づけ及び今後世界に与える影響等について、会合の中心的役割を果たされた内閣府職員の方に、会合の様子等を含めてお話しいただきます。

講師

まなご
真子

ひろし
博氏

内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付
参事官補佐(国際総括)

略歴

1986年文部省入省。2001年東京医科歯科大学経理部主計課長、2006年独立行政法人国立大学財務・経営センター総務部経営支援課長。2008年より東京工業大学研究情報部次長・部長、研究推進部長を経て、2012年内閣府、2013年から現職。国際総括として、国際業務全般、特にG7科学技術大臣会合、オープンサイエンス、科学技術基本計画、国際会議、二国間等科学技術協力、OECD等国际機関連携等を担当。

「つくばコミュニケ」（共同声明）のポイント

①保健医療と科学技術

- ・高齢社会におけるアクティブ・エイジングの促進。
- ・顧みられない熱帯病等（NTDs/PRDs）における研究開発の促進。

②女性の活躍拡大と次代を担う科学技術イノベーション人材の育成

- ・科学技術イノベーション分野における女性の活躍及び次世代のグローバルリーダーの育成を推進。

③海洋の未来

- ・科学的知見に基づく海洋の管理と保全、持続可能な利用に向けて、国際協力を強化。海洋ごみについては、科学的活動の展開により、G7富山環境大臣会合へ貢献。

④革新的エネルギーの技術開発

- ・G7北九州エネルギー大臣会合の議論を受け、2050年を見据えた革新的技術の開発等を促進。

⑤包摂的で持続可能なイノベーションの創出

- ・発展途上国への貢献、経済成長と格差のない社会の両立を目指した国際科学技術協力を促進。特に、自然災害に関して、議長である島尻大臣から緊急提案し、科学的・技術的知見を活用し、災害リスクの軽減、防災など国際協力を促進。

⑥オープンサイエンス

- ・オープンサイエンスを効率的に推進し、適切に活用していくため、国際機関との連携を念頭に国際ルールづくり等を検討するワーキンググループを設置。

参加申込書（FAX：029-868-7625）

住所	氏名	参加人数	電話番号	通信欄
	(ふりがな)	(代表者含む)		
		人		